

平成29年度指定管理業務 評価票

1 基本事項

(1)公の施設の名称	糸魚川市健康づくりセンター(はびねす)
(2)施設の設置目的	市民の健康づくりの推進を図るとともに、市民に憩いとふれあいの場を提供するため
(3)所管部署	健康増進課
(4)指定管理者	コナミスポーツクラブ・糸魚川二幸グループ
(5)指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年間
(6)主な事業	①施設の管理運営に関する業務 利用申込の受付、利用料金の徴収、スタジオ・フィットネスルーム・入浴施設の管理運営業務、施設・設備及び備品の維持管理 ②健康づくりの推進及び各種教室運営に関すること 運動教室の企画及び実施、フィットネスルームにおける個別指導及びトレーニング機器等の説明、市の健康づくり推進事業との連携、施設外での出張指導 ③その他の業務 職員の雇用・配置及び研修、施設内の目的に適したスペースの利用等

2 管理運営状況

(1)平成29年度管理運営状況(主要な取り組み・成果、地域貢献等の実績)																							
・平成29年度から新たに「はびねす健診」として、はびねすを会場とした健診を実施(H29.6.13)。 健康増進課・糸魚川総合病院と連携して、保健師・看護師による保健指導を行うとともに、健診後はフィットネスルームを利用いただき、はびねすインストラクターによる運動指導も行った(健診受診者84人)。 はびねす健診で初めて施設を利用された方、また健診日以降継続して施設を利用されるようになった方もおり、運動習慣の定着に向けたきっかりづくりや施設のPR・利用促進にもつながった。 ・出張指導を昨年度よりも多く展開することで、より多くの方に体験いただく機会を設けるとともに施設PRを図った(H28:28会場、参加者639人→H29:35会場、参加者712人)。 ・初めての方でも参加しやすい内容の新規プログラムを新たに導入するなどし、新規利用者の確保に努めた。																							
(2)利用状況																							
(単位:人)																							
	H27年度	H28年度	H29年度																				
指定管理者名	コナミスポーツクラブ・ 糸魚川二幸グループ	コナミスポーツクラブ・ 糸魚川二幸グループ	コナミスポーツクラブ・ 糸魚川二幸グループ																				
総利用者数	84,175	81,668	81,295																				
(スタジオ利用者数)	24,357	24,167	21,244																				
(フィットネス利用者数)	30,781	33,090	33,075																				
(風呂利用者数)	29,037	24,411	26,976																				
「利用者サービス」における 市の状況分析	冬期間の荒天の影響もあり利用者数は減となったが、施設内にご意見BOXを設置し、利用者のニーズに応じた運動プログラムの展開や運営に関しての要望に対応するなど、利用者サービスの向上に努めている。 また、年に1回利用者アンケートを実施しており、スタッフの対応や教室の指導内容等に関するアンケート結果において、前年度よりも利用者からの評価ポイントが上がっている点は評価できる。 <アンケート結果> ※5点満点評価 <table> <tr> <th></th><th>(H28)</th><th>(H29)</th><th>(前年比)</th></tr> <tr> <td>①受付・フロントについて(スタッフの対応、掲示物等) …</td><td>4.05</td><td>→ 4.07</td><td>+0.02</td></tr> <tr> <td>②トレーニング室について(スタッフの指導、説明等) …</td><td>3.93</td><td>→ 3.93</td><td>±0</td></tr> <tr> <td>③スタジオについて(プログラムの指導内容等) …</td><td>3.69</td><td>→ 3.71</td><td>+0.02</td></tr> <tr> <td>④ロッカー・トイレ・浴室について(清潔さ等) …</td><td>3.72</td><td>→ 3.76</td><td>+0.03</td></tr> </table>				(H28)	(H29)	(前年比)	①受付・フロントについて(スタッフの対応、掲示物等) …	4.05	→ 4.07	+0.02	②トレーニング室について(スタッフの指導、説明等) …	3.93	→ 3.93	±0	③スタジオについて(プログラムの指導内容等) …	3.69	→ 3.71	+0.02	④ロッカー・トイレ・浴室について(清潔さ等) …	3.72	→ 3.76	+0.03
	(H28)	(H29)	(前年比)																				
①受付・フロントについて(スタッフの対応、掲示物等) …	4.05	→ 4.07	+0.02																				
②トレーニング室について(スタッフの指導、説明等) …	3.93	→ 3.93	±0																				
③スタジオについて(プログラムの指導内容等) …	3.69	→ 3.71	+0.02																				
④ロッカー・トイレ・浴室について(清潔さ等) …	3.72	→ 3.76	+0.03																				

(3)収支状況

(単位:千円)

区 分		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度(予算)
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
収入	指定管理料	43,303	43,303	43,303	43,303	43,303	43,303	43,303
	利用料金	25,761	25,216	24,188	23,910	23,169	23,708	24,209
	事業収入(教室受講料)	4,903	5,349	5,198	4,705	4,710	4,102	4,718
	その他営業収入等	3,534	3,043	1,976	1,599	1,165	1,695	1,382
計		77,501	76,911	74,665	73,517	72,347	72,808	73,612

(単位:千円)

区 分		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度(予算)
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
支出	人件費	28,500	28,810	28,200	27,347	28,300	27,605	28,578
	需用費	消耗品費	4,739	4,398	4,822	4,664	4,930	4,760
		薬品費	46	10	46	7	150	37
		電気料	6,300	5,761	6,246	5,404	6,120	5,901
		ガス料	8,905	7,753	8,027	7,503	8,040	8,390
		水道料	1,708	1,694	1,716	1,690	1,712	1,684
		下水道料	6,655	6,170	6,565	6,220	6,460	6,299
		修繕費	878	250	642	231	642	321
	役務費	通信運搬費	560	414	623	324	623	337
		手数料	1,038	114	715	105	715	105
		保険料	469	241	245	217	245	214
	委託料	維持管理業務	3,573	4,021	3,573	4,021	3,573	4,021
		清掃業務	4,437	3,990	4,437	3,990	4,437	3,990
		水質検査業務	359	359	359	359	359	359
	使用料	借上料	486	115	114	57	114	0
		使用料						
		租税公課費	21	0	22	0	22	0
		原材料費	1,585	1,644	1,027	1,105	197	490
		備品購入費	108	0	54	0	150	0
		本社費	6,038	4,930	5,600	4,460	4,460	4,292
計		76,405	70,674	73,033	67,704	71,249	68,805	72,439

収支差額	1,096	6,237	1,632	5,813	1,098	4,003	1,173
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

「収支状況」における市の 状況分析	利用料金収入及び事業収入については、利用者数の減に伴い前年度よりも減収となった。 また、光熱水費の各使用量は前年並みであったが、電気・ガスの単価値上げ分が影響し、支出額についても前年度よりも増額となった。 しかし、収支については計画額を上回る黒字額を確保できている。			
	＜参考：ガス使用実績＞			
		(H28)	(H29)	(前年比)
	使用量	… 75,262m ³	→ 75,534m ³	+100.3%
使用料	… 7,502,422円	→ 8,390,492円	+111.8%	

3 適正な管理運営の確保

目標管理	評価指標	利用者の安全確保、適正な施設管理
	目 標	適正な施設の運営・維持管理を行うこと。また苦情や緊急時などに迅速かつ適切に対応すること。
	実 績	事業計画書に基づき適正な管理運営を行い、苦情や事故等もなかった。

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・誰もが利用できる仕組みを構築し運営しているか。	障がい者・高齢者の方へのスムーズな利用を支援するためのスタッフ研修を引続き実施した。
	・協定書及び仕様書等に基づいて設備の保守点検や備品の点検を適正に実施しているか。	各種点検については、適正に実施しており、点検結果を毎月提出するとともに、定例会にて報告・協議を行っている。
	・協定書、事業計画書等で定めた職員体制がとられているか。	事業計画書等で定めた適切な人員配置を行っており、トレーニング指導ライセンスの取得や接客接客研修などの各種研修を通じ職員の資質向上を図っている。
	・利用者が安全、安心して利用できるような緊急・救急体制を有しているか。	緊急事態発生時の対応フローを備えており、また館内には姫川洪水ハザードマップも掲示するなどし、市民の防災意識の高揚を図っている。
	・事故防止や事故発生時の対応について研修等を実施しているか。	心肺蘇生法・AED研修を全スタッフが受講し、消防本部と連携しての防災訓練も実施した。また、毎月17日を安全の日とし、月1回安全に関する研修・点検を実施している。
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	特に大きな問題はなかった。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A A	A A
	評価理由	施設外での派遣指導において地区公民館などで教室を開催し、広く市民に運動をすすめることができた。また、計画的に全スタッフで話す機会をもつことで、来館促進の為にイベントや次回取組への改善・開拓を行うことができ、次回もご利用いただける施設運営を行えた。また、計画的に施設設備点検や法令点検を実施することでお客様をお迎えする環境整備を徹底できた。	各種保守点検や水質検査等も適正に実施されており、点検状況や点検結果、対応内容についても毎月報告がなされるとともに館内にも掲示を行っている。 また、利用者が安全快適に利用できるように、スタッフに対しての毎月の安全研修や接客研修、インストラクター研修などを定期的実施するなど、人材育成も積極的になされている点はとくに評価できる。
	改善事項	安全快適な環境づくりに努めるとともに、従業員満足度も上げていける施設運営を図っていく。	引き続き効率的な施設管理に努め、経費節減を図ること。

【評価基準】

ランク		目標達成率(%)	判断基準
AAA		115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA		105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A+	100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A-	95%以上 100%未満	
B		80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C		80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

4 利用者サービスの向上や利用者数増の取り組み

目標管理	評価指標	利用者人数の増加				
	目 標	総利用者:82,000人、スタジオ:24,500人、フィットネスルーム:32,500人				
	実 績	総利用者:81,295人、スタジオ:21,244人、フィットネスルーム:33,075人				
資料	(単位 :					
	項目	①H29 目標数	②H28 利用者数	③H29 利用者数	達成率 ※③/①	対前年比 ※③/②
	総利用者数	82,000	81,668	81,295	99.1%	99.5%
	(スタジオ利用者数)	24,500	24,167	21,244	86.7%	87.9%
	(フィットネスルーム利用者数)	32,500	33,090	33,075	101.8%	100.0%

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・利用促進に向けた取組みに努めているか。実現可能な利用促進策を実施しているか。	初めての方でも参加しやすい運動プログラムの導入やチャレンジイベントを展開するなど、新たな利用促進策を講じた。
	・教室、イベント、自主事業などの取組み状況	今年度新たに新規インストラクターを育成し、多様なプログラムの展開を図った。
	・利用者数増加のためのPR活動は実施しているか。	ホームページや新聞掲載、また、出張指導時にハンドビラを実施するなどPRを行った。
	・利用者アンケート等を活用し利用者の要望や意見を把握しているか。また対応策を講じているか。	利用者アンケートを実施し、要望や意見を取り入れた運営を行った。
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	特記すべき事項なし。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A (A-)	A (A-)
	評価理由	昨年に続き、来館促進の為に体力測定会や番付け、スタンプラリーなど、施設利用者への健康増進施策を行うことができた。また、今年度は過去最高数の派遣指導を行い、広く市民の方へ健康づくりの為に運動促進が出来たものと自負している。また、フィットネスルーム利用者も過去最高の昨年に迫る結果を残すことができた。	冬期間の利用が伸び悩んだことも影響し、総利用者数は前年比373名の減となった。しかしながら、フィットネス利用者数については、目標数を上回り、オープン以来過去最高の利用者数となった前年とほぼ同様の利用者数を確保できた点は評価できる。
	改善事項	フィットネスルームの利用者は過去最高に近い数値を維持でき、市民の健康づくりには貢献できているものの、全体の利用人数については前年に届かなかったため、全体の利用人数もしっかり牽引できる取組を行っていく。	フィットネスルームの利用者数は好調に推移しているが、スタジオ利用者数については前年比2,923名の減となっている。新規スタジオプログラムの展開などにより、新規利用者確保や利用促進を図ること。

【評価基準】

ランク	目標達成率(%)	判断基準
AAA	115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA	105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A+ 100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A- 95%以上 100%未満	
B	80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C	80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

5 収支や収益の向上に関する取り組み

目標管理

評価指標

収入及び収支の達成状況

目 標

事業計画での目標値を達成すること。

実 績

収入及び収支ともに目標額を上回った。

資料

■収入(※指定管理料を除く)

(単位:

項目	①H29 計画額	②H28 実績額	③H29 実績額	達成率 ※③/①	対前年比 ※③/②	前年比差額 ※③－②
利用料収入	23,169,680	23,910,750	23,708,311	102.3%	99.2%	▲ 202,439
教室受講料収入	4,710,360	4,704,880	4,102,241	87.1%	87.2%	▲ 602,639
自動販売機収入	432,000	494,717	461,051	106.7%	93.2%	▲ 33,666
商品販売収入	120,000	543,944	164,829	137.4%	30.3%	▲ 379,115
その他(外部指導料等)	612,800	560,626	1,069,465	174.5%	190.8%	508,839
合計	29,044,840	30,214,917	29,505,897	101.6%	97.7%	▲ 709,020

■収支

(単位:

項目	①H29 計画額	②H28 実績額	③H29 実績額	達成率 ※③/①	対前年比 ※③/②	前年比差額 ※③－②
収入(※指定管理料含む)	72,347,697	73,517,774	72,808,754	—	99.0%	▲ 709,020
支出	71,249,029	67,704,017	68,805,599	—	101.6%	1,101,582
差引	1,098,668	5,813,757	4,003,155	364.4%	68.9%	▲ 1,810,602

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・利用料収入の目標達成度	目標額は上回ることができたが、実績額については前年度よりも減収となった。
	・収入増加のための取組みを実施しているか。	トレーニングウェア販売など利用者からの要望にも対応して利便性を図ることで、その他収入(自主事業)の増加を図った。
	・収支決算書は適正に作成されているか。	収支決算書及び事業報告書を適正に作成・報告し確認を受けている。
	・経費削減や業務の効率化に取り組んでいるか。	気候にあわせて設備の自動運転を手動に切り替え調整するなど、より細やかな経費節減策を講じ、施設管理経費の削減に努めた。
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	特記すべき事項なし。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A A A	A A
	評価理由	光熱費の値上げによる影響で2,000千円以上のコスト増になったものの、他のコストを抑制することで利益を生み出し、収入、収支ともに目標を上回る結果となった。派遣指導により市民への運動実践の機会を多く持つことができ、そこからの施設利用に結び付けることができたことが大きな要因だと考える。	収入・収支ともに目標額を上回ったが、利用者数減に伴う減収、また、光熱水費の値上げも影響し、前年度よりも収支は減収となった。しかし、そのような状況のなか経費削減に努めるなどし管理経費を抑え、黒字額を確保できた点は評価できる。
	改善事項	施設利用に直結する、教室受講料の回復が最優先課題と考えている。次年度ではこの点の回復に努めていきたい。	教室受講料収入については、目標額及び前年額よりも減収となった。新規プログラムの展開などにより新規利用者確保や利用促進を図り、収入・収支目標の達成に努めること。

【評価基準】

ランク	目標達成率(%)	判断基準
AAA	115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA	105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A+ 100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A- 95%以上 100%未満	
B	80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C	80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

6 公の施設の設置目的と全体評価

検 証 等		市の評価		
	評 価	設置目的	目標管理（評価指標）の再掲	指標別評価
		市民の健康づくりの推進を図るとともに、市民に憩いとふれあいの場を提供するため。	適正な管理運営の確保	A A
			利用者サービスの向上	A（A－）
			収支の実績	A A
		評価内容		
	・個々の体力等に応じた運動指導を実施するなどし、市民の健康づくりの推進が図られていることから、施設の設置目的に合致している。 ・フィットネス利用者数については、オープン以来過去最高となった昨年度同様の利用者数を確保するなど、着実に運動習慣の定着化を図れている点はとくに評価できる。 ・上記の内容に指標別の評価を含め、全体的に判断し、総合評価を「A A」とした。			A A
課題検証	・昨年度、課題のひとつとしていた健診事業等との連携については、今年度「はびねす健診」として実施しており、受診者からも非常に好評であった。当日健診後、引き続き運動指導もあわせて受けることのできる環境整備は、市民の健康増進に寄与する有効な取り組みであると考え。今後も施設をより活用した取り組みが必要である。 ・施設内に限らず、出張指導等による施設外における事業展開の推進は、施設PR・新規利用者の確保につながると考えることから、引き続き積極的な事業展開が必要であると考え。			
改善事項	・施設の利用によって得られる運動効果を客観的に判断できるようなデータ収集及び分析を行っているが、数値結果等を広く市民へ周知できる方策を健康増進課と連携し、さらに検討すること。 ・特定保健指導、介護予防事業等とさらなる連携を図り、幅広い年齢層を対象とした健康づくりの推進を図ること。			

【総合評価】

評価区分	判断基準
AAA	優良である
AA	良好である
A	適正である
B	課題がある
C	改善を要する

評価委員会の意見

糸魚川市健康づくりセンター（はびねす）

項目	意 見
管理運営 利用者サービス 収支実績	・ 指定管理者の専門知識が生かされた運営がなされている。今後も健康づくりが病気の予防につながるような取り組みをお願いしたい。 ・ 新たな取り組みとして、当該施設を会場とした健診が実施されたことは評価できる。今後は、健診の内容をさらに工夫し、医療機関や事業所と連携して、受診者の増加につながる取り組みをお願いしたい。 ・ 当該施設を利用したことがない方がおり、いかに周知できるかが課題であるとする。アンケート結果の分析などにより、未利用者が興味を引くようなPRに取り組んでいただきたい。
全体評価	・ 収支計画の策定にあたっては、指定管理者と市が連携を図って、各年度の積算をきちんと行い、適正な指定管理料の算定につなげていただきたい。 ・ また、市は目標や実績の見せ方をより具体的にすることにより、サービスの向上や利用者の増加を目指せるよう、評価方法を工夫していただきたい。